

**国土利用計画策定に関するアンケート調査
結果速報**

平成21年11月

草津市

目次

1	調査概要	1
	(1) 調査の目的	1
	(2) 調査対象	1
	(3) 調査方法	1
	(4) 回収状況	1
2	調査結果	2
	問1 土地利用について問題と感ずること	2
	問2 将来に向けた土地利用の方向	3
	問3 具体的な保全の方向	4
	問4 具体的に開発を進めていく方向	5
	問5 商業・サービス・業務地のあり方について重要と感ずる施策	6
	問6 住宅地の整備について重要だと感ずる施策	7
	問7 工業地域の整備について重要だと感ずる施策	8
	問8 農地について重要だと感ずる施策	9
	問9 森林環境について重要だと感ずる施策	10
	問10 道路整備について重要だと感ずる施策	11
	問11 ため池や河川について重要だと感ずる施策	12
	問12 居住地周辺地域の土地利用の現状について	13
	問13 居住地周辺地域の土地利用上の問題	14
	問14 居住地周辺地の将来像	15
	問15 性別	16
	問16 年齢	17
	問17 居住地区	18
	問18 居住年数	19
3	調査票	20

1 調査概要

(1) 調査目的

平成 10 年に策定した第三次草津市国土利用計画の目標年度を平成 22 年にひかえ、計画策定にあたり、市民が感じている土地利用上の問題点や課題、方向性についての意向を把握し、第四次草津市国土利用計画策定に向けての基礎資料とするため実施した。

(2) 調査対象

- ・ 18 歳以上の市内在住者 3,000 人

(3) 調査方法

- ・ 調査は無記名
- ・ 調査期間は平成 21 年 10 月 1 日（木）～10 月 15 日（木）
- ・ 郵送による配布・回収

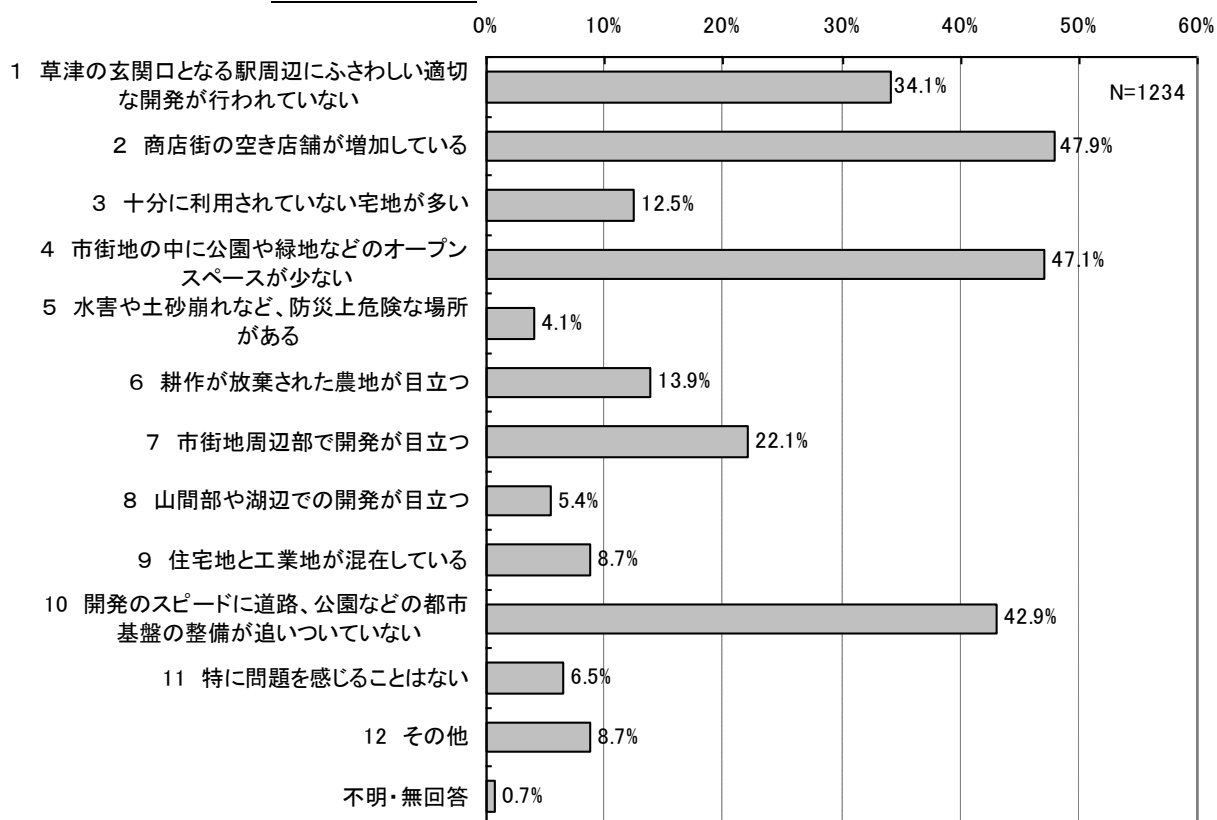
(4) 回収状況

- ・ 回収数 1,234 件
- ・ 回収率 41.1%

2 調査結果

草津市の土地の利用について

問1 草津市の土地の利用について、どのようなことが問題と感じますか。最も近いと考えられるものを3つまで選んで、番号に○印をつけてください。



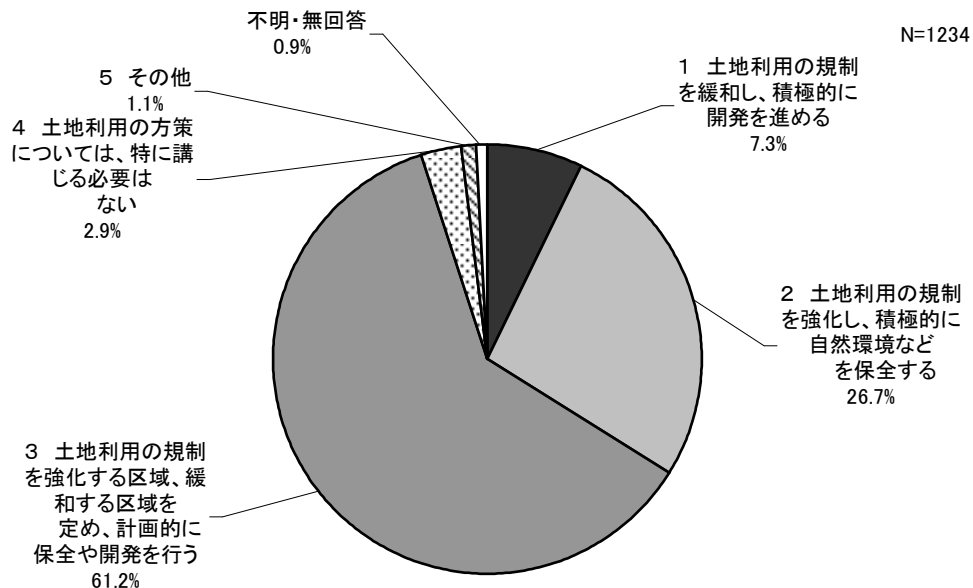
商店街の空き店舗、公園や緑地などのオープンスペースの他、未熟な都市基盤が約4～5割

「商店街の空き店舗が増加している」が47.9%、「市街地の中に公園や緑地などのオープンスペースなどが少ない」が47.1%となっており、市街地内での土地利用についての懸念の声が5割近くになっている一方、「開発のスピードに道路、公園などの都市基盤の整備が追いついていない」が42.9%と新たに開発が進む地域での基盤整備についての懸念が4割を超えている。

また、「草津の玄関口となる駅周辺にふさわしい適切な開発が行われていない」が34.1%と、駅周辺の開発についての懸念や、「市街地周辺部で開発が目立つ」といった新たに開発が進む地域についての懸念も22.1%となっている。

草津市全体の土地利用の望ましい将来方向について

問2 草津市では、土地の利用について、規制を強化・緩和する区域を定め、計画的な保全・開発に努めてきましたが、将来に向けた土地の利用の方向について、最も近いと考えられるものを1つ選んで、番号に○印をつけてください。



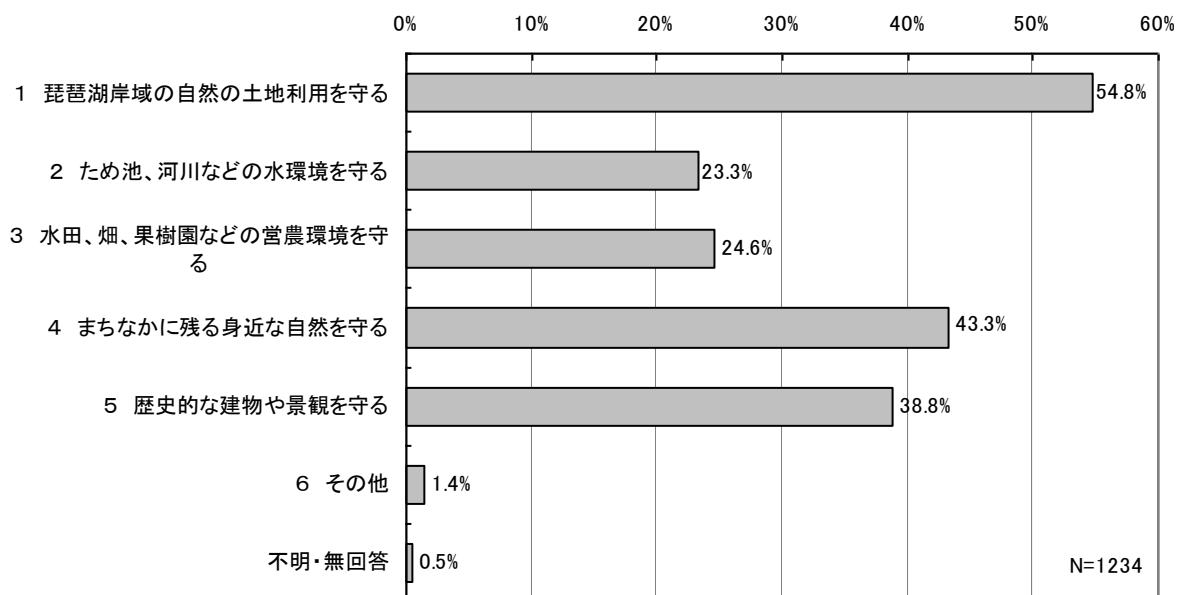
計画的な保全・開発を望む声が6割強、積極的な自然環境の保全も3割近く

「土地利用の規制を強化する区域、緩和する区域を定め、計画的に保全や開発を行う」が61.2%と6割を超えており、計画的な保全・開発を望む声が大きくなっている。

また、「土地利用の規制を強化し、積極的に自然環境などを保全する」については26.7%と3割近くを占めており、自然環境を望む声も目立っている。

一方、「土地利用の規制を緩和し、積極的に開発を進める」については7.3%と1割を切る回答になっている。

問3 草津市における土地の利用上、具体的な保全の方向性について、最も近いと考えられるものを2つまで選んで、番号に○印をつけてください。

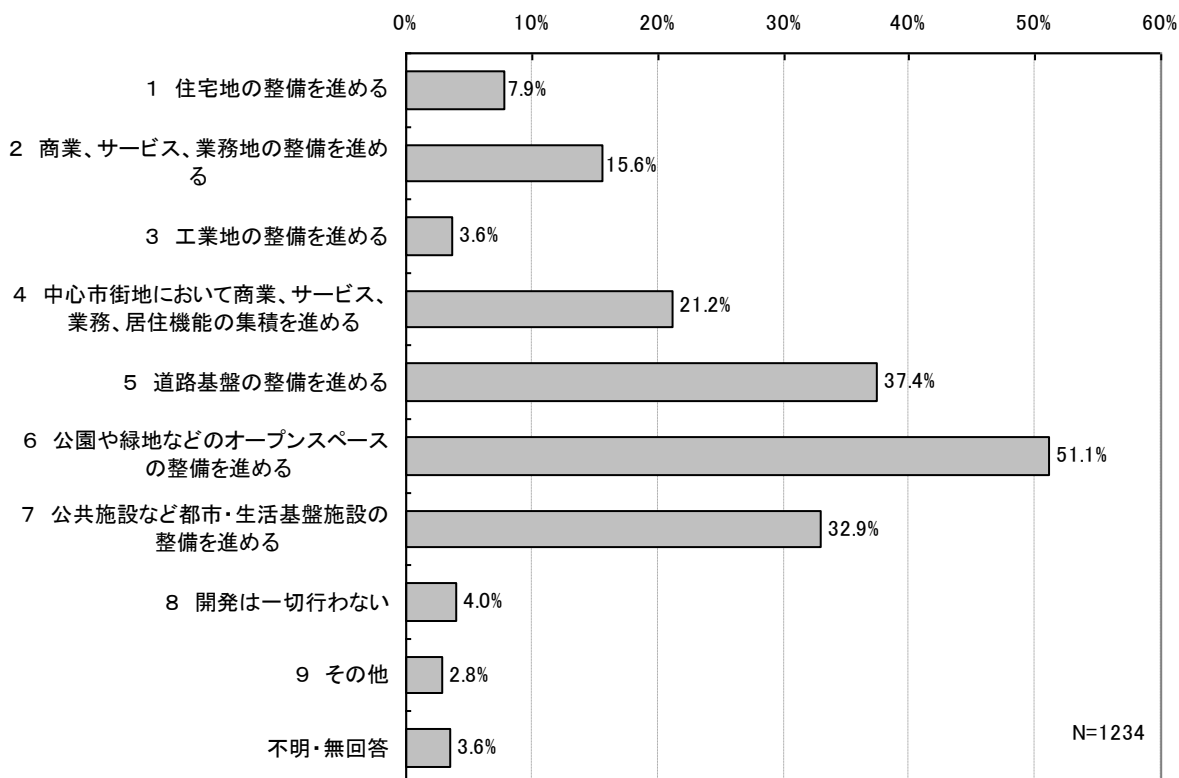


琵琶湖岸域の自然の保全が過半数、まちなかの身近な自然の保全についても4割を超える

「琵琶湖岸域の自然の土地利用を守る」が54.8%と過半数を占めており、琵琶湖岸の保全を重要に考える市民が多くなっている。

また、「まちなかに残る身近な自然を守る」「歴史的な建物や景観を守る」についてもそれぞれ43.3%、38.8%と3～4割前後の回答となっており、まちなかの自然に対する保全、歴史的な環境の保全についての意識も目立っている。

問4 草津市における土地の利用上、具体的に開発を進めていく方向として、最も近いと考えられるものを2つまで選んで、番号に○印をつけてください。

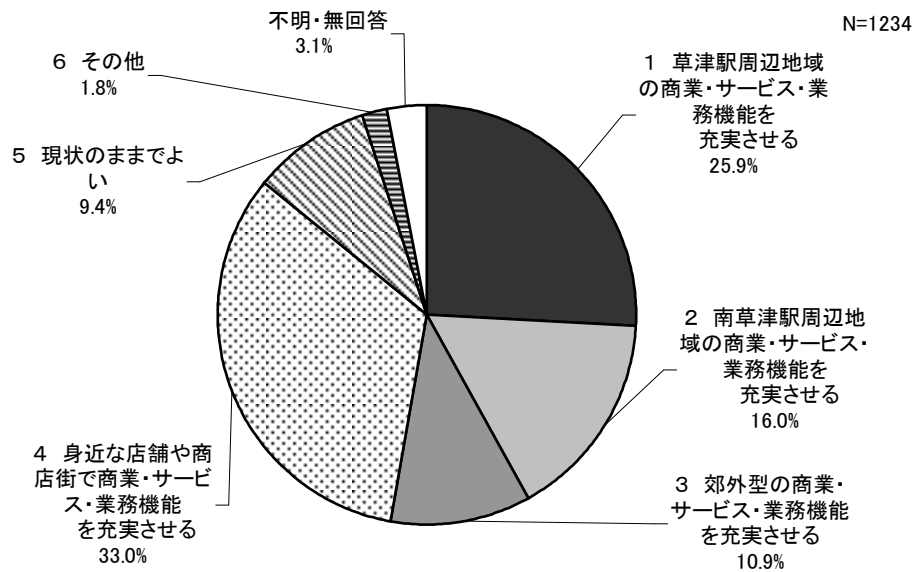


公園や緑地などのオープンスペースの整備が過半数、道路整備や公共施設等の都市・生活基盤整備も3割を超える

「公園や緑地などのオープンスペースの整備を進める」が51.1%と過半数を占めており、問1での土地利用の問題点で回答が多くなっていた項目と合致している。

また、「道路基盤の整備を進める」が37.4%、「公共施設など都市・生活基盤施設の整備を進める」が32.9%と基盤整備について回答が多くなっている。

問5 商業・サービス・業務地のあり方について、重要だと感じる施策について最も近いと考えられるものを1つ選んで、番号に○印をつけてください。

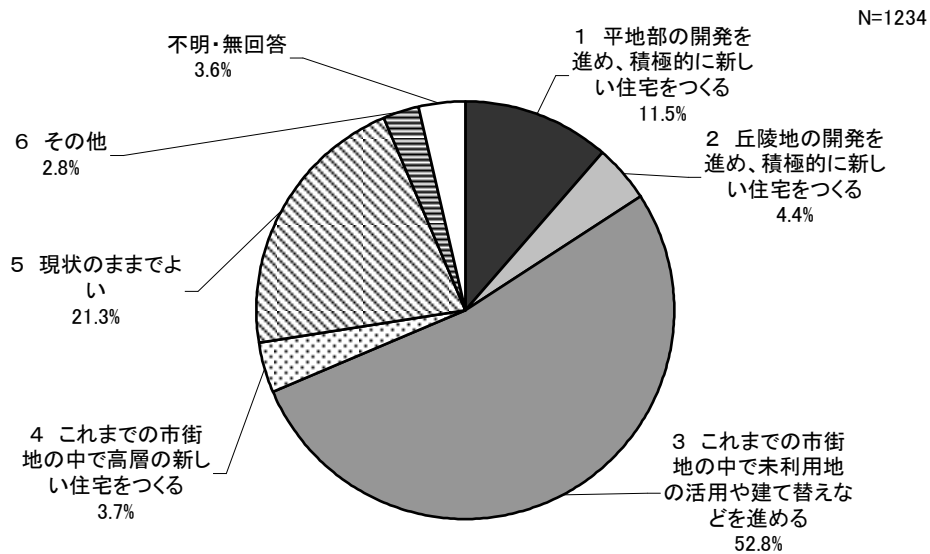


身近な商業・サービス・業務機能の充実が3割強、草津駅周辺地域の商業・サービス・業務機能の充実も3割近く

「身近な店舗や商店街で商業・サービス・業務機能を充実させる」が33.0%と3割を超えるが、「草津駅周辺地域の商業・サービス・業務機能を充実させる」が25.0%と3割近くの回答が集まっている。

また、「南草津駅周辺地域の商業・サービス・業務機能を充実させる」は16.0%、「郊外型の商業・サービス・業務機能を充実させる」は10.9%となっている。

問6 住宅地の整備について、重要だと感じる施策について最も近いと考えられるものを1つ選んで、番号に○印をつけてください。

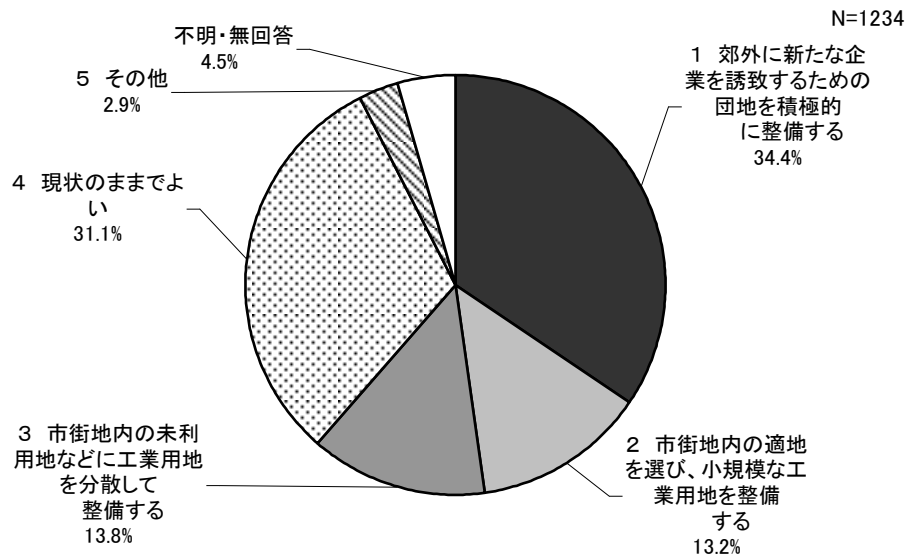


市街地内の未利用地の活用や建て替えの促進が過半数

「これまでの市街地の中で未利用地の活用や建て替えなどを進める」が52.8%と過半数を占めている他、「現状のままでよい」が21.3%となっている。

一方、「平地部の開発を進め、積極的に新しい住宅をつくる」が11.5%、「丘陵地の開発を進め、積極的に新しい住宅をつくる」が4.4%、「これまでの市街地の中で高層の新しい住宅をつくる」が3.7%となっており、新しい住宅開発に関する回答は比較的少なくなっている。

問7 工業地域の整備について、重要だと感じる施策について最も近いと考えられるものを1つ選んで、番号に○印をつけてください。

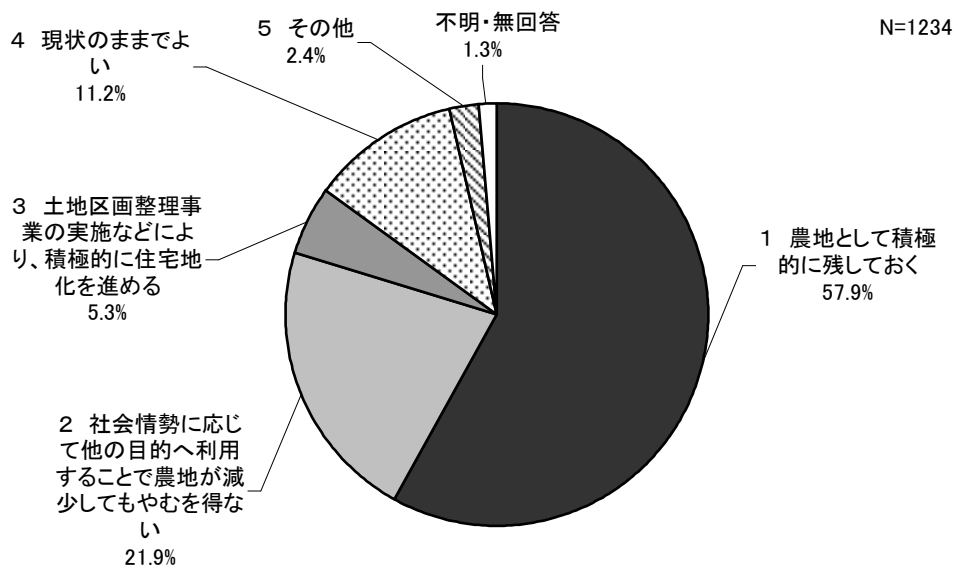


郊外での積極的な工業団地整備と現状維持が3割強

「郊外に新たな企業を誘致するための団地を積極的に整備する」が 34.4%と3割を超えるが、「現状のままでよい」とする回答も 31.1%と3割を超えており、拮抗している。

また、「市街地内の未利用地などに工業用地を分散して整備する」が 13.8%、「市街地内の適地を選び、小規模な工業用地を整備する」が 13.2%となっている。

問8 農地について、重要だと感じる施策について最も近いと考えられるものを1つ選んで、番号に○印をつけてください。



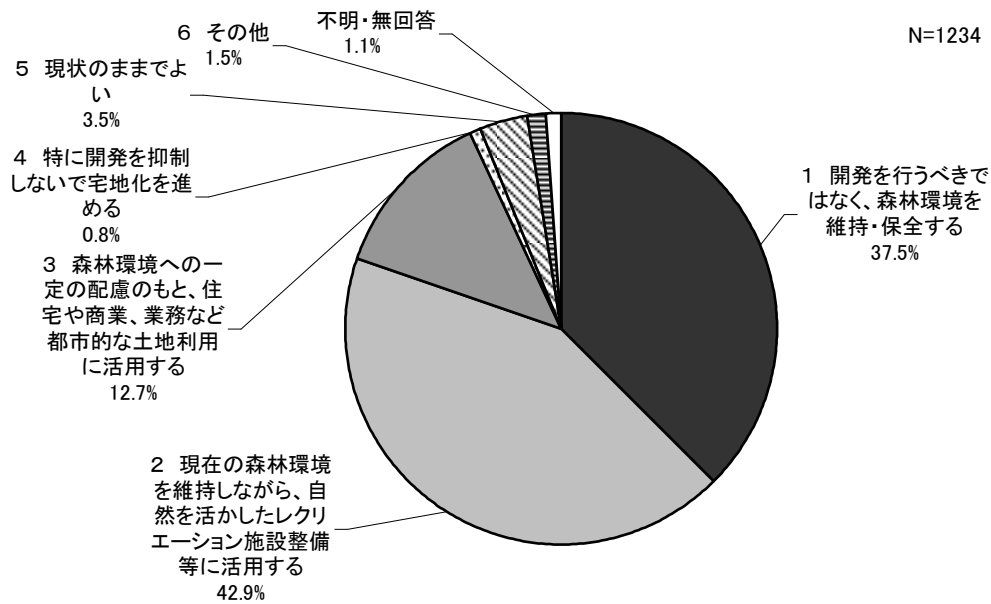
農地の積極的な保全が6割近く

「農地として積極的に残しておく」が57.9%と6割近くの回答となっている。

「社会情勢に応じて他の目的へ利用することで農地が減少してもやむを得ない」は21.9%となっている。

また、「現状のままでよい」が11.2%、「土地区画整理事業の実施などにより、積極的に住宅地化を進める」が5.3%となっている。

問9 森林環境について、重要だと感じる施策について最も近いと考えられるものを1つ選んで、番号に○印をつけてください。

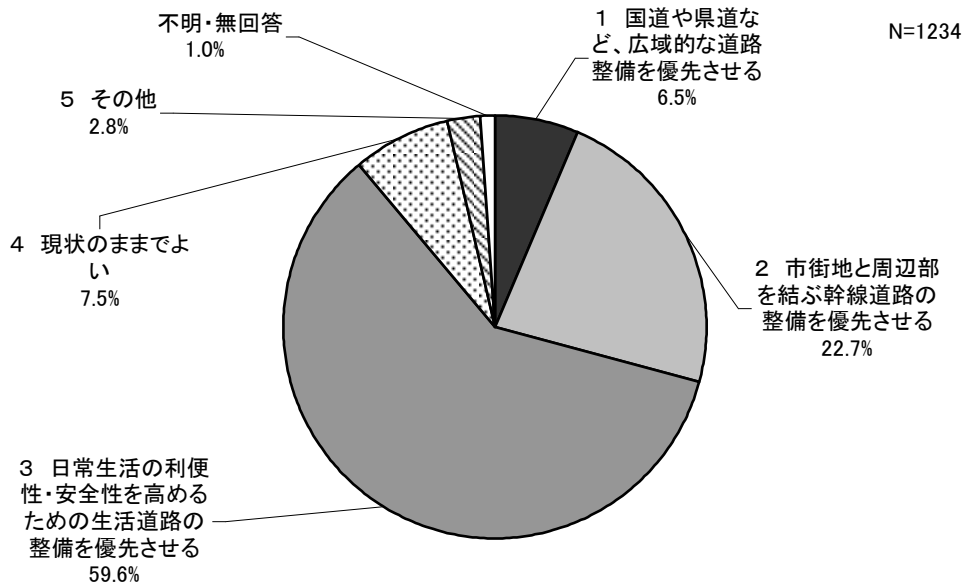


自然を活用したレクリエーション施設整備等の活用が4割強、維持・保全が4割近く

「現在の森林環境を維持しながら、自然を活かしたレクリエーション施設整備等に活用する」が42.9%と4割を超えているが、「開発を行うべきではなく、森林環境を維持・保全する」についても37.5%と4割近くの回答となっている。

また、「森林環境への一定の配慮のもと、住宅や商業、業務など都市的な土地利用に活用する」が12.7%、「現状のままでよい」が3.5%、「特に開発を抑制しないで宅地化を進める」が0.8%となっている。

問 10 道路整備について、重要だと感じる施策について最も近いと考えられるものを1つ選んで、番号に○印をつけてください。

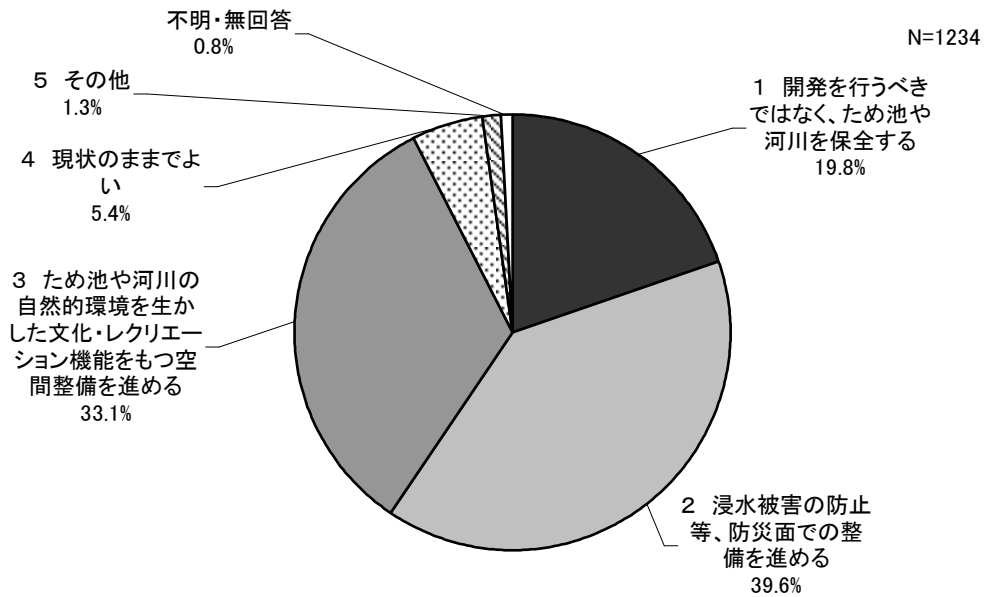


日常生活の利便性や安全性を高める生活道路整備が6割近く

「日常生活の利便性・安全性を高めるための生活道路の整備を優先させる」が59.6%と6割近くの回答になっている。

また、「市街地と周辺部を結ぶ幹線道路の整備を優先させる」が22.7%、「現状のままでよい」が7.5%、「国道や県道など、広域的な道路整備を優先させる」が6.5%となっている。

問 11 ため池や河川について、重要だと感じる施策について最も近いと考えられるものを1つ選んで、番号に○印をつけてください。



防災面での整備が4割近く、文化・レクリエーション機能をもつ空間整備が3割強

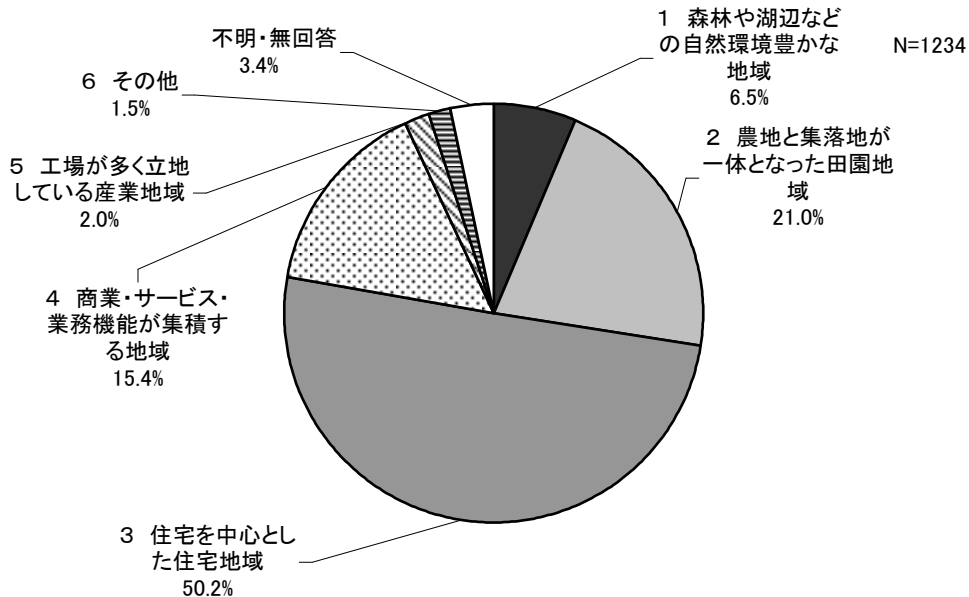
「浸水被害の防止等、防災面での整備を進める」が39.6%と4割近くの回答になっている。

また、「ため池や河川の自然的環境を生かした文化・レクリエーション機能をもつ空間整備を進める」についても33.1%と3割を超える回答になっている。

その他、「開発を行うべきではなく、ため池や河川を保全する」が19.8%、「現状のままでよい」が5.4%となっている。

お住まいの地域の土地利用について

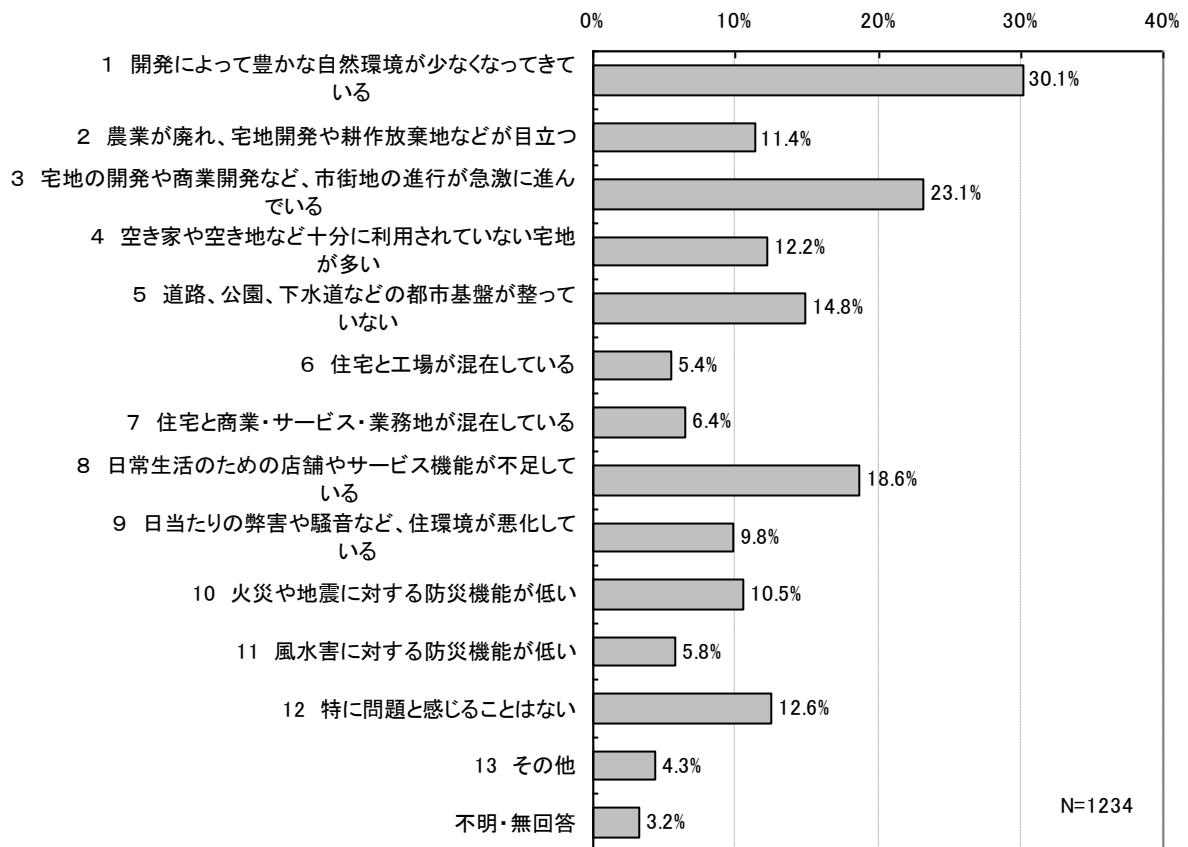
問 12 お住まいの周辺地域の土地利用の現状について、最も近いと考えられるものを1つ選んで、番号に○印をつけてください。



住宅地域が約半数、田園地域が2割、商業・サービス・業務機能の集積地域が2割近く

「住宅を中心とした住宅地域」が 50.2%と約半数になっている他、「農地と集落地が一体となった田園地域」が 21.0%、「商業・サービス・業務機能が集積する地域」が 15.4%、「森林や湖辺などの自然環境豊かな地域」が 6.5%、「工場が多く立地している産業地域」が 2.0%となっている。

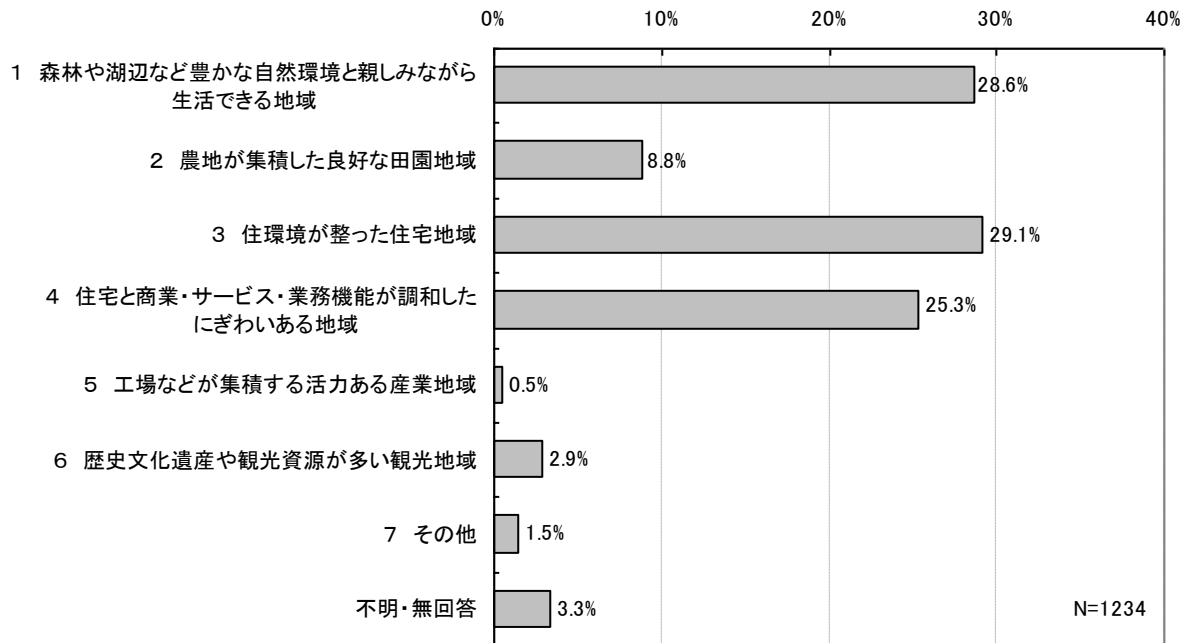
問 13 お住まいの周辺地域の土地利用について、どのようなことが問題と感じますか。最も近いと考えられるものを2つまで選んで、番号に○印をつけてください。



開発による自然環境の減少が3割、開発による市街地の急激な進行が2割強、日常生活のための店舗やサービス機能の不足が2割弱

「開発によって豊かな自然環境が少なくなっている」が30.1%と最も多く、次いで「宅地の開発や商業開発など、市街地の進行が急激に進んでいる」が23.1%、「日常生活のための店舗やサービス機能が不足している」が18.6%、「道路、公園、下水道などの都市基盤が整っていない」が14.8%と続いている。

問 14 お住まいの周辺地域の将来像として、どのようなイメージが望ましいと感じますか。最も近いと考えられるものを1つ選んで、番号に○印をつけてください。

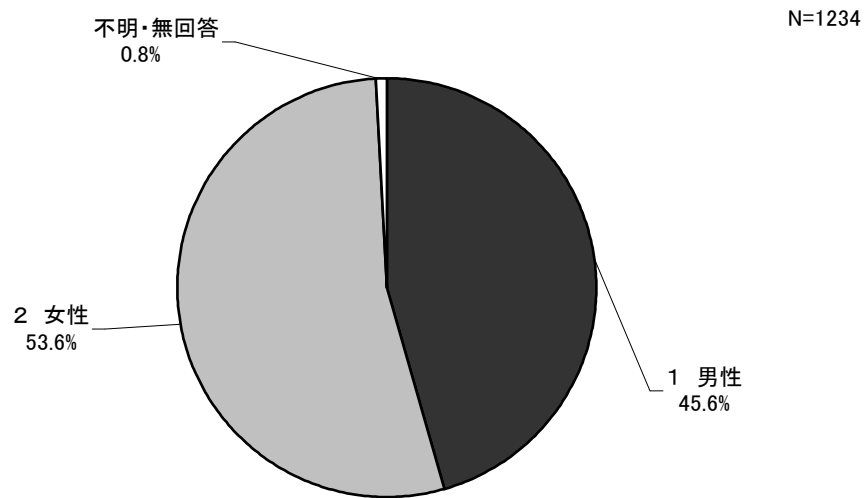


住環境が整った住宅地域、自然環境と親しみながら生活できる地域、住宅と商業・サービス・業務機能が調和した地域が約3割

「住環境が整った住宅地域」が 29.1%、「森林や湖辺など豊かな自然環境と親しみながら生活できる地域」が 28.6%、「住宅と商業・サービス・業務機能が調和したにぎわいある地域」が 25.3%と、3つの回答が3割弱を占めている。

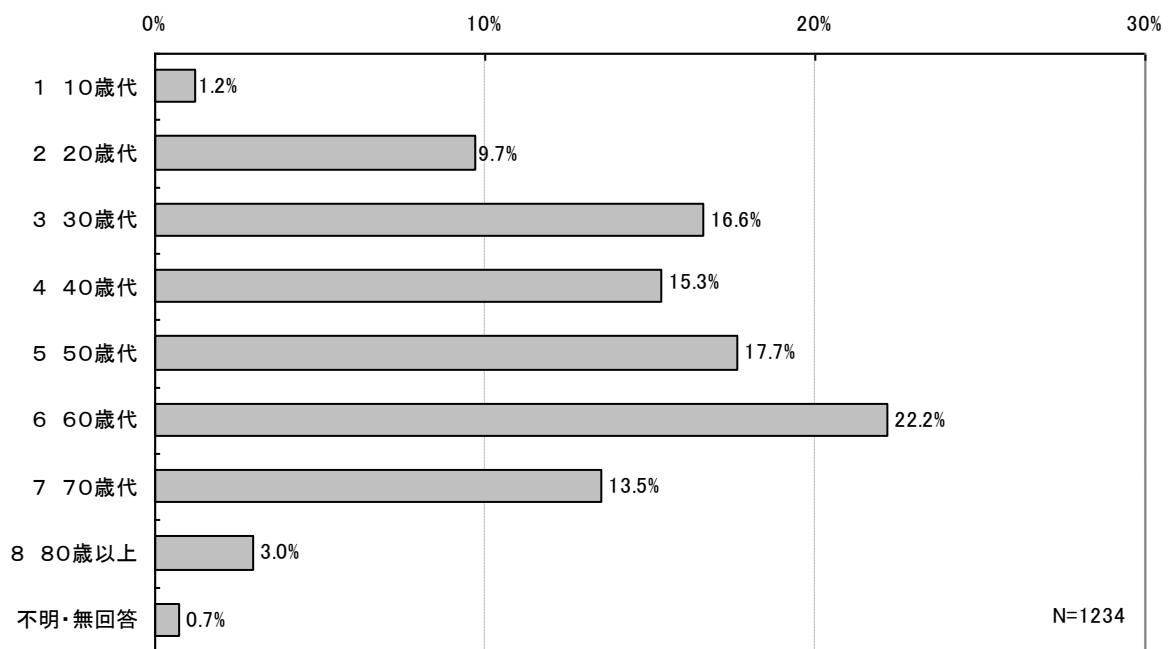
あなたご自身のことについて

問 15 あなたの性別を選んで番号に○印をつけてください。



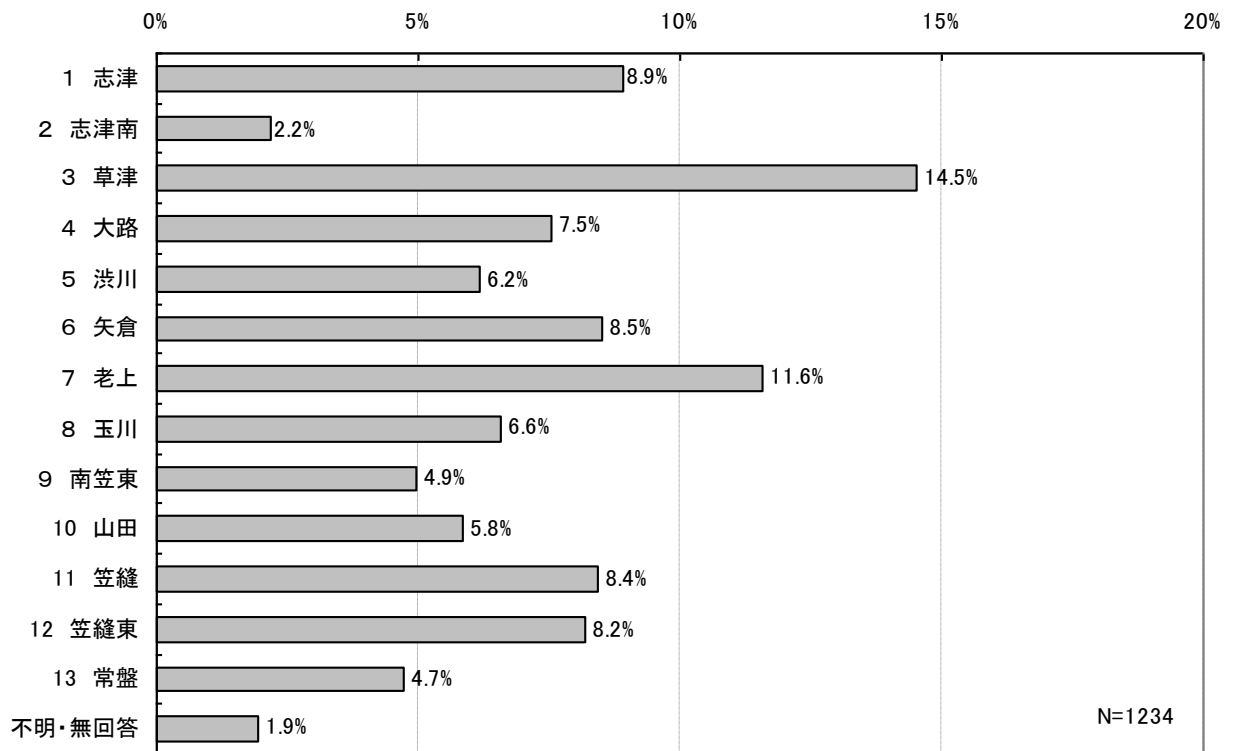
「女性」が 53.6%、「男性」が 45.6%となっている。

問 16 あなたの年齢を選んで番号に○印をつけてください。



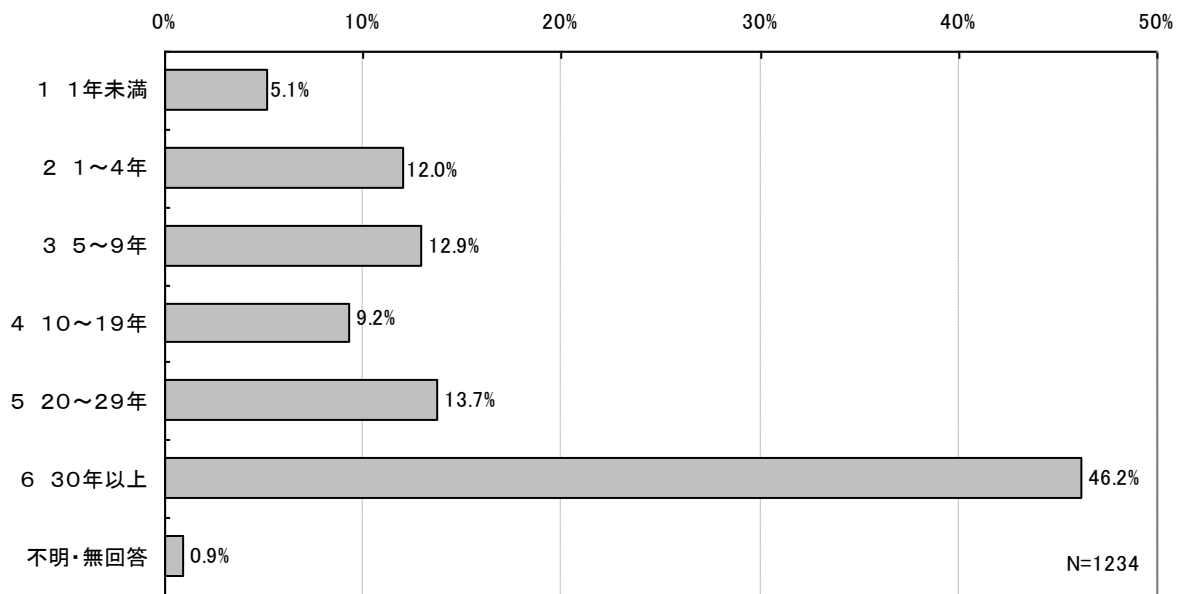
「60歳代」が22.2%、「50歳代」が17.7%、「30歳代」が16.6%、「40歳代」が15.3%、「70歳代」が13.5%、「20歳代」が9.7%、「80歳以上」が3.0%となっている。

問17 あなたのお住まいの地区を選んで番号に○印をつけてください。



「草津」が14.5%、「老上」が11.6%、「志津」が8.9%、「矢倉」が8.5%、「笠縫」が8.4%、「笠縫東」が8.2%、「大路」が7.5%などとなっている。

問 18 あなたが草津市に住まわれてからの年数を選んで番号に○印をつけてください。



「30年以上」が46.2%と半数近くになっており、次いで「20~29年」が13.7%、「5~9年」が12.9%、「1~4年」が12.0%、「10~19年」が9.2%、「1年未満」が5.1%となっている。

第4次草津市国土利用計画策定に関するアンケート調査

秋涼の候、皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

日ごろは、市政に対し御理解と御協力を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

さて、本市では、平成10年に策定しました本市の土地利用の指針であります「第3次草津市国土利用計画」のもとで適切な土地利用を進めてきましたが、計画の目標年度である平成22年を控え、社会、経済情勢の変化にも対応した計画への見直しに着手しております。

計画策定にあたっては、草津市にお住まいの皆様の様々な御意見をお聞きしたいと考えており、この度、草津市の土地利用に関するアンケート調査を実施させていただきます。

なお、調査は無記名方式で実施し、御回答の内容はすべて統計的に処理し、プライバシーの保護はもとより他の目的に利用することは一切ございません。

御多忙の折りと存じますが、調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願い申し上げます。

平成21年10月1日

草津市長 橋川 渉

【調査票への御記入にあたって】

- この調査には、平成21年9月1日現在で草津市にお住まいの18歳以上の皆様のなかから3,000人を選んでは御協力をお願いしています。
- 調査結果は所期の目的にのみ用い、すべての回答内容は統計的に処理して、プライバシーの保護に十分留意致します。
- 住所・氏名・連絡先などを記入していただく必要はありません。

誠に恐れいりますが、平成21年10月15日（木）までに同封返信用封筒に入れ、切手を貼らずにポストへお入れください。

調査に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

【お問い合わせ先】

草津市草津三丁目13番30号

草津市 総合政策部 企画調整課 担当：森下、一浦、松井

電話 (077) 561-2320

ファックス (077) 561-2483

Eメール kikaku@city.kusatsu.lg.jp

問 1 草津市の土地の利用について、どのようなことが問題と感じますか。最も近いと考えられるものを3つまで選んで、番号に○印をつけてください。

- 1 草津の玄関口となる駅周辺にふさわしい適切な開発が行われていない
- 2 商店街の空き店舗が増加している
- 3 十分に利用されていない宅地が多い
- 4 市街地の中に公園や緑地などのオープンスペースが少ない
- 5 水害や土砂崩れなど、防災上危険な場所がある
- 6 耕作が放棄された農地が目立つ
- 7 市街地周辺部で開発が目立つ
- 8 山間部や湖辺での開発が目立つ
- 9 住宅地と工業地が混在している
- 10 開発のスピードに道路、公園などの都市基盤の整備が追いついていない
- 11 特に問題を感じることはない
- 12 その他 ()

草津市全体の土地利用の望ましい将来方向について

問 2 草津市では、土地の利用について、規制を強化・緩和する区域を定め、計画的な保全・開発に努めてきましたが、将来に向けた土地の利用の方向について、最も近いと考えられるものを1つ選んで、番号に○印をつけてください。

- 1 土地利用の規制を緩和し、積極的に開発を進める
- 2 土地利用の規制を強化し、積極的に自然環境などを保全する
- 3 土地利用の規制を強化する区域、緩和する区域を定め、計画的に保全や開発を行う
- 4 土地利用の方策については、特に講じる必要はない
- 5 その他 ()

問 3 草津市における土地の利用上、具体的な保全の方向性について、最も近いと考えられるものを2つまで選んで、番号に○印をつけてください。

- 1 琵琶湖岸域の自然の土地利用を守る
- 2 ため池、河川などの水環境を守る
- 3 水田、畑、果樹園などの営農環境を守る
- 4 まちなかに残る身近な自然を守る
- 5 歴史的な建物や景観を守る
- 6 その他 ()

問4 草津市における土地の利用上、具体的に開発を進めていく方向として、最も近いと考えられるものを2つまで選んで、番号に○印をつけてください。

- 1 住宅地の整備を進める
- 2 商業、サービス、業務地の整備を進める
- 3 工業地の整備を進める
- 4 中心市街地において商業、サービス、業務、居住機能の集積を進める
- 5 道路基盤の整備を進める
- 6 公園や緑地などのオープンスペースの整備を進める
- 7 公共施設など都市・生活基盤施設の整備を進める
- 8 開発は一切行わない
- 9 その他 ()

問5 商業・サービス・業務地のあり方について、重要だと感じる施策について最も近いと考えられるものを1つ選んで、番号に○印をつけてください。

- 1 草津駅周辺地域の商業・サービス・業務機能を充実させる
- 2 南草津駅周辺地域の商業・サービス・業務機能を充実させる
- 3 郊外型の商業・サービス・業務機能を充実させる
- 4 身近な店舗や商店街で商業・サービス・業務機能を充実させる
- 5 現状のままでよい
- 6 その他 ()

問6 住宅地の整備について、重要だと感じる施策について最も近いと考えられるものを1つ選んで、番号に○印をつけてください。

- 1 平地部の開発を進め、積極的に新しい住宅をつくる
- 2 丘陵地の開発を進め、積極的に新しい住宅をつくる
- 3 これまでの市街地の中で未利用地の活用や建て替えなどを進める
- 4 これまでの市街地の中で高層の新しい住宅をつくる
- 5 現状のままでよい
- 6 その他 ()

問7 工業地域の整備について、重要だと感じる施策について最も近いと考えられるものを1つ選んで、番号に○印をつけてください。

- 1 郊外に新たな企業を誘致するための団地を積極的に整備する
- 2 市街地内の適地を選び、小規模な工業用地を整備する
- 3 市街地内の未利用地などに工業用地を分散して整備する
- 4 現状のままでよい
- 5 その他 ()

問 8 農地について、重要だと感じる施策について最も近いと考えられるものを1つ選んで、番号に○印をつけてください。

- 1 農地として積極的に残しておく
- 2 社会情勢に応じて他の目的へ利用することで農地が減少してもやむを得ない
- 3 土地区画整理事業の実施などにより、積極的に住宅地化を進める
- 4 現状のままでよい
- 5 その他 ()

問 9 森林環境について、重要だと感じる施策について最も近いと考えられるものを1つ選んで、番号に○印をつけてください。

- 1 開発を行うべきではなく、森林環境を維持・保全する
- 2 現在の森林環境を維持しながら、自然を活かしたレクリエーション施設整備等に活用する
- 3 森林環境への一定の配慮のもと、住宅や商業、業務など都市的な土地利用に活用する
- 4 特に開発を抑制しないで宅地化を進める
- 5 現状のままでよい
- 6 その他 ()

問 10 道路整備について、重要だと感じる施策について最も近いと考えられるものを1つ選んで、番号に○印をつけてください。

- 1 国道や県道など、広域的な道路整備を優先させる
- 2 市街地と周辺部を結ぶ幹線道路の整備を優先させる
- 3 日常生活の利便性・安全性を高めるための生活道路の整備を優先させる
- 4 現状のままでよい
- 5 その他 ()

問 11 ため池や河川について、重要だと感じる施策について最も近いと考えられるものを1つ選んで、番号に○印をつけてください。

- 1 開発を行うべきではなく、ため池や河川を保全する
- 2 浸水被害の防止等、防災面での整備を進める
- 3 ため池や河川の自然的環境を生かした文化・レクリエーション機能をもつ空間整備を進める
- 4 現状のままでよい
- 5 その他 ()

お住まいの地域の土地利用について

問 12 お住まいの周辺地域の土地利用の現状について、最も近いと考えられるものを1つ選んで、番号に○印をつけてください。

- 1 森林や湖辺などの自然環境豊かな地域
- 2 農地と集落地が一体となった田園地域
- 3 住宅を中心とした住宅地域
- 4 商業・サービス・業務機能が集積する地域
- 5 工場が多く立地している産業地域
- 6 その他 ()

問 13 お住まいの周辺地域の土地利用について、どのようなことが問題と感じますか。最も近いと考えられるものを2つまで選んで、番号に○印をつけてください。

- 1 開発によって豊かな自然環境が少なくなっている
- 2 農業が廃れ、宅地開発や耕作放棄地などが目立つ
- 3 宅地の開発や商業開発など、市街地の進行が急激に進んでいる
- 4 空き家や空き地など十分に利用されていない宅地が多い
- 5 道路、公園、下水道などの都市基盤が整っていない
- 6 住宅と工場が混在している
- 7 住宅と商業・サービス・業務地が混在している
- 8 日常生活のための店舗やサービス機能が不足している
- 9 日当たりの弊害や騒音など、住環境が悪化している
- 10 火災や地震に対する防災機能が低い
- 11 風水害に対する防災機能が低い
- 12 特に問題と感ずることはない
- 13 その他 ()

問 14 お住まいの周辺地域の将来像として、どのようなイメージが望ましいと感じますか。最も近いと考えられるものを1つ選んで、番号に○印をつけてください。

- 1 森林や湖辺など豊かな自然環境と親しみながら生活できる地域
- 2 農地が集積した良好な田園地域
- 3 住環境が整った住宅地域
- 4 住宅と商業・サービス・業務機能が調和したにぎわいある地域
- 5 工場などが集積する活力ある産業地域
- 6 歴史文化遺産や観光資源が多い観光地域
- 7 その他 ()

あなたご自身のことについて

問 15 あなたの性別を選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問 16 あなたの年齢を選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|--------|---------|
| 1 10歳代 | 5 50歳代 |
| 2 20歳代 | 6 60歳代 |
| 3 30歳代 | 7 70歳代 |
| 4 40歳代 | 8 80歳以上 |

問 17 あなたのお住まいの地域を選んで番号に○印をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1 志津 | 6 矢倉 | 11 笠縫 |
| 2 志津南 | 7 老上 | 12 笠縫東 |
| 3 草津 | 8 玉川 | 13 常盤 |
| 4 大路 | 9 南笠東 | |
| 5 渋川 | 10 山田 | |

問 18 あなたが草津市に住まれてからの年数を選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|--------|----------|
| 1 1年未満 | 4 10～19年 |
| 2 1～4年 | 5 20～29年 |
| 3 5～9年 | 6 30年以上 |

あなたご自身のことについて

問 19 最後に、草津市の土地利用に関するご意見、ご提言などがございましたらご自由に記入ください。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

ご協力ありがとうございました。